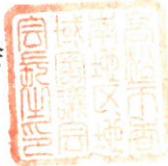


平成30年5月28日

高松市長 大西秀人様

高松市香南地区地域審議会
会長 赤松千壽



建設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の
実施事業に関する意見の取りまとめについて（回答）

新緑の候 貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申しあげ
ます。

日頃は、本地域審議会の運営等につきまして、格別の御理解と御協力を賜り
厚く御礼申しあげます。

さて、平成30年4月16日付け高地振第1011号により依頼のありました、建設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の実施事業に
に関する意見の取りまとめについて、下記のとおり意見集約を図りましたので回
答いたします。

記

1 提出書類

建設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の実施事業に
に関する意見について

建設設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
1	県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備	<p>県道三木綾川バイパスルート（仮称）整備については、近々に県道円座香南線に接続しなければ、その効果は極めて少ないばかりか、市道下川原北線香東川橋梁の西側付近の狭あいな市道においては、交通量の増加による渋滞や交通事故に繋がる恐れがあります。</p> <p>このような事態を回避するため、香東川橋梁に接続する市道城渡吉光線の早期の整備をお願いするとともに、橋梁の供用開始時に併せて、少なくとも、東は空港通りと西は県道円座香南線とを接続するよう、事業主体となる香川県に対して、特段の働き掛けをしていただくことを切に要望してきたところです。</p> <p>しかしながら、市道城渡吉光線の整備については、補助金確保や用地買収等に時間を要するなど、当初の計画から大幅に遅れが生じております。また、橋梁から西へのバイパスルートは、未だ不透明なままであります。</p> <p>このような状況を踏まえ、市道城渡吉光線の早期の整備に加え、橋梁開通により影響が大きいと考えられる狭あいな市道の拡幅や交差点の改良のほか、市道旧川原不動線の橋梁への延伸や橋梁から辺り橋へつながる新たな市道の整備等も視野に、今後のバイパスルートの検討を進めていただくことを切に要望します。</p> <p>なお、県道三木綾川線の香川町や綾川町における交差点改良及び歩道整備等については、抜本的な交通渋滞の解消になつてないことを申し添えます。</p>
2	地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の整備	<p>地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の整備については、平成29年度に暫定路線が開通しましたが、開通に伴って整備した香南こども園付近の交差点や市道尾池丸田線と吉光高根線の交差点等において、進行方向が分かりにくいくらいなど、通行に影響もでているところです。</p> <p>また、県道千疋高松線と市道香川綾南線の交差点付近では、交通量の増加に伴い市道南原音谷線へ迂回する車両の増大が懸念されています。</p> <p>今後、地域高規格道路は、高松空港への更なるアクセス向上のため、県道三木綾川線と立体交差する計画が示されています。この区間は、『月見ヶ原公園』や『香南こども園』、『道の駅香南楽湯』、『社会福祉協議会香南支所』など、香南町の重要な施設が続く拠点的な地域です。</p> <p>現在、事業主体である香川県により、整備計画などについての地元説明会が行われていますが、香南地域の将来像についてまで検討していただいているとは思えない状況です。</p> <p>地域高規格道路の整備は、香南地域の今後のまちづくりに大きく影響をおよぼすものであることから、地域審議会においても議論が行われ、要望等が届くよう事業主体となる香川県に対して、更なる働き掛けをしていただくことを要望します。</p> <p>なお、地域高規格道路に関する市道の安全確保及び適切な維持修繕については、特に配慮をお願いします。</p>
3	市道等の整備	<p>市道等の整備については、建設設計画登載路線のうち地元関係者の同意が得られた路線について、順次、整備を進めていただきおり順調な進捗が図られていますが、未整備路線についても、早急に実施されるよう要望します。</p> <p>特に、前述の香川綾川バイパスルート（仮称）と地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）に関連する市道城渡吉光線、旧川原不動線、不動大股線、南原音谷線、尾池丸田線、吉光高根線などについては、通行量が大幅に増加することが予想されるため、快適で安全な道路空間の確保に向けた対策を講じるよう要望します。</p>

建設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
4	立地適正化計画策定に伴う土地開発規制の強化による地域の衰退	<p>高松市では、平成29年度に策定した「高松市立地適正化計画」に基づき、用途白地地域等において、住環境の保全や市街地の拡散防止が図られるよう、特定用途制限地域や開発許可基準等の見直しを検討していると聞いています。</p> <p>この取り組みは、地域の土地開発の規制につながるもので、今後、用途地域の指定などの新たな土地開発の規制の導入も想定されています。</p> <p>土地開発の規制は、人口減少・超高齢社会を迎える中、コンパクトで持続可能なまちづくりの実現に向けて重要なものだと思いますが、規制の強化等により香南町のにぎわいが失われることのないよう、町民の合意が得られるような対応を強く要望します。</p>
5	香南小学校大規模改修工事の着工	<p>平成30年4月にパブリックコメントを実施した「高松市学校施設長寿命化計画（案）」において、予てから要望していた香南小学校の大規模改修が、平成31年度からの改築として一定の方向性が示されたことに対して、厚くお礼申しあげます。</p> <p>今後は、策定される計画に沿って事業が進められるものと期待しておりますが、改築事業が整備手法等を含め、子どもたちの教育環境の変化に配慮したものとなるよう切に要望します。</p>
6	防災行政無線を利用した一般広報の継続運用	<p>防災ラジオについては、平成30年度をもって、市の補助金による低価格での購入は終了することになっております。</p> <p>しかしながら、現在、何らかの理由で購入できなかつた人や転入者など、防災ラジオがない市民がいることも事実です。</p> <p>防災ラジオは、災害時の重要な情報収集手段の一つでありますことから、補助事業の継続は困難だとしても、防災ラジオの継続的な斡旋等の未購入者への対応を強く要望します。また、香南町内で発生している難聴地域については、早期の解消に向けた取り組みを強く要望します。</p>
7	南部スポーツ施設における特色あるスポーツ施設の整備	<p>南部スポーツ施設における特色あるスポーツ施設につきましては、スポーツ振興課をはじめ関係団体等の御尽力により、夜間照明設備を完備した施設として、平成30年8月に「高松りんくうスポーツ公園」の名称でオープンすることになりましたことに対して、厚くお礼申しげます。</p> <p>今後は、施設の利用状況や利用者の意見を聞きながら管理棟の整備についても検討することから、各種大会の誘致など利用率向上に向けた取り組みを強く要望します。</p> <p>また、施設の有効利用のためにも、整備いただく夜間照明施設については、当初計画していたとおり多様なスポーツへの対応を要望するとともに、高齢者も利用できる健康遊具や介護予防遊具などの市民の健康増進につながる設備の設置についても要望します。</p>
8	地域行政組織の再編	<p>地域行政組織の再編において、香南支所では、従来からの窓口サービスを継続する激変緩和措置が講ぜられており、市民サービスの低下は免れています。</p> <p>今後、香南支所は、地区センター（仮称）への移行が予定されておりますが、香南支所の利用者が周辺地域にも拡大している地域特性等も考慮し、客観的にみて地域の誰もが激変緩和措置の終了もやむを得ないと思えるような状態に至るまで、引き続き適切な対策を講じられるよう引き続き強く要望します。</p>

建設計画に係る平成31（2019）年度及び2020年度の実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
9	公共交通機能の維持・確保	<p>香南町では、人口減少、少子高齢社会に対応するため、策定された「高松市立地適正化計画」の内容も踏まえ、広域拠点である高松空港と、ことでん岡本駅を発着として、香南楽湯、香南コミュニティセンターなどの町内の拠点施設を経由する新たなコミュニティバスの運行を計画しており、コミュニティ協議会内に検討組織が結成されているところです。</p> <p>一方、高松市では、市内のバス路線の再編が検討されていると聞いており、香南町で運行を計画しているコミュニティバスの導入は、町内を走る他のバス路線への影響など、香南町の公共交通機能に大きな影響を及ぼす可能性があるものと感じています。</p> <p>このようなことから、今後、地域組織によるコミュニティバスの運行の検討に当たっては、利用者予測や資金計画に加え、ルートの選定など広域的なバス再編に対応した交通ネットワークが構築できるよう適切な指導・助言などの支援を講じるよう要望します。</p> <p>また、地域組織によるコミュニティバスの運行においては、実現可能性の判断が重要であると考えており、一定の期間、試行的にコミュニティバスの運行を行うなどの実証実験の実施に関する支援策等を、早急に検討いただくよう要望します。</p>
10	香南地域保健活動センター（旧香南保健センター）の利活用について	<p>香南地域保健活動センター（旧香南保健センター）については、地域組織による新しい総合事業や高齢者の居場所づくり、こども食堂などの実施により、平成30年4月から、管理委託を受けることが実現したことに対して、感謝を申しあげます。</p> <p>今後は、地域保健活動センターにおいて、新たな事業も開始したいと考えており、更なる利用者の増加も想定されることから、継続的な支援等を要望します。</p>
11	町内の公共施設の適切な管理	<p>合併後12年以上が経過し、香南町内に整備されている公共施設にも老朽化が顕著になってきています。このような施設の中でも、特に、ふれあい館、ふれあい活動センター、香南地域保健活動センター、池西・由佐農村環境改善センター、香南体育館、香南庭球場については、直営施設でないことなどからか、雨漏り、絨毯・床材の剥離などが放置されており、関係課へ要望しても予算がないとの回答が、数年続いている状態です。</p> <p>高松市では、今後の施設の維持管理費の増加等を踏まえ、「高松市公共施設再編整備計画」を策定し、今後の施設の在り方等を示していますが、香南町において、廃止との方向性が示されている施設は旧香南陶芸館のみで、その他の施設は継続の方向性が示されています。</p> <p>各施設ごとにそれぞれの事情があることは承知していますが、一定程度の施設修繕は、施設の長寿命化につながるものであることから、適切な施設管理を強く要望します。</p>